

礼文町立香深井小学校 研究発表

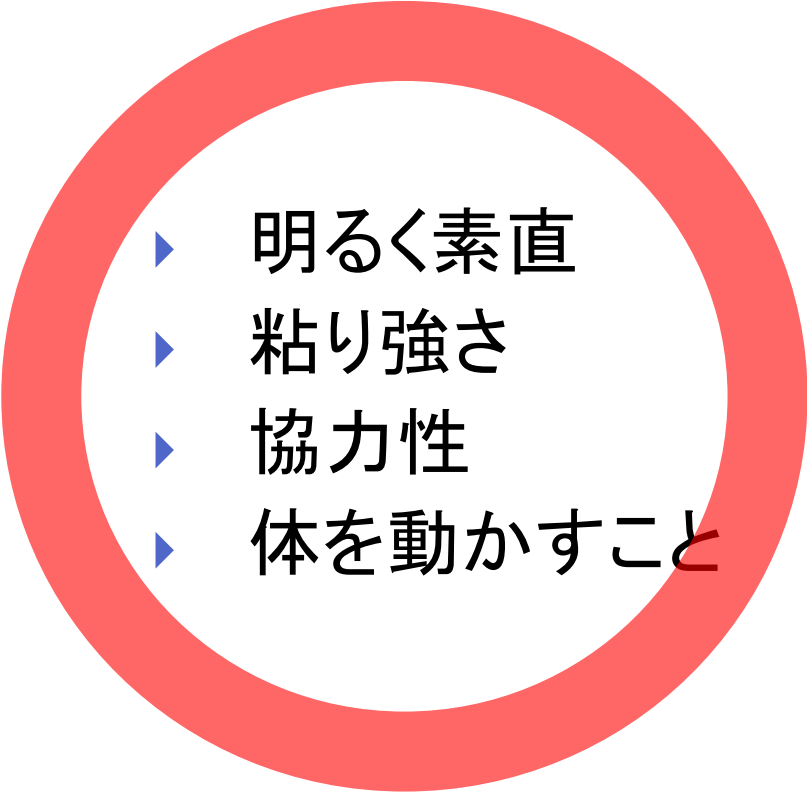
平成26年9月26日(金)
礼文町教育研究大会

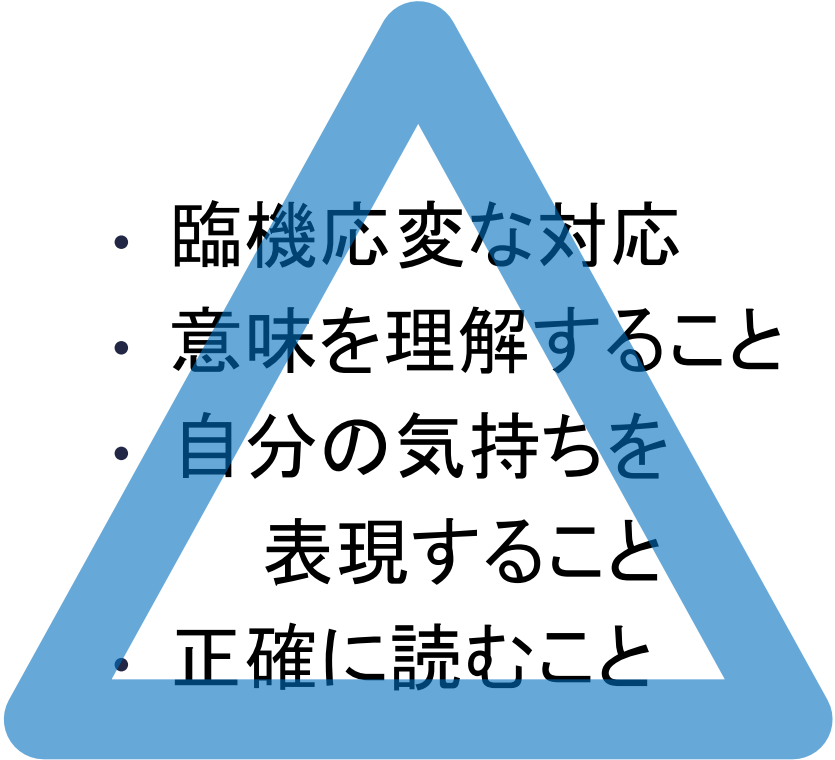
研究主題

自ら考え，かかわりあい，
伝え合う子どもの育成

～楽しくわかる授業づくりを通して～

児童の実態

- 
- ▶ 明るく素直
 - ▶ 粘り強さ
 - ▶ 協力性
 - ▶ 体を動かすこと

- 
- ・ 臨機応変な対応
 - ・ 意味を理解すること
 - ・ 自分の気持ちを表現すること
 - ・ 正確に読むこと

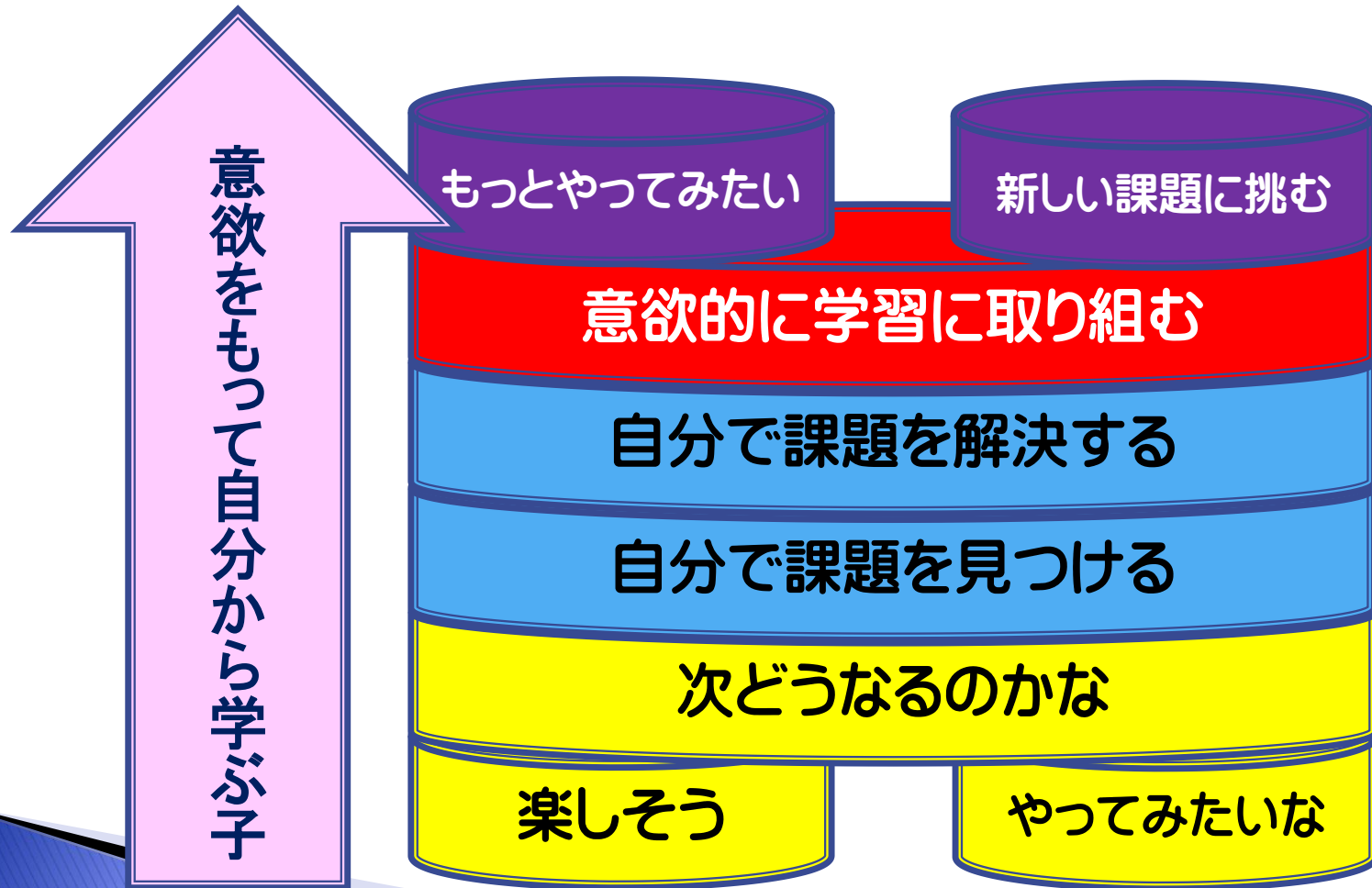
目指す子ども像

- ▶ 意欲をもって自分から学ぶ子
- ▶ 確かな読みのもとで文意を捉えられる子
- ▶ 思いや考えを自分の言葉で伝えられる子



研究の仮説1

導入において、学習内容への期待感を高めることにより、自ら課題をもち、意欲的に学習に取り組むことができるだろう。



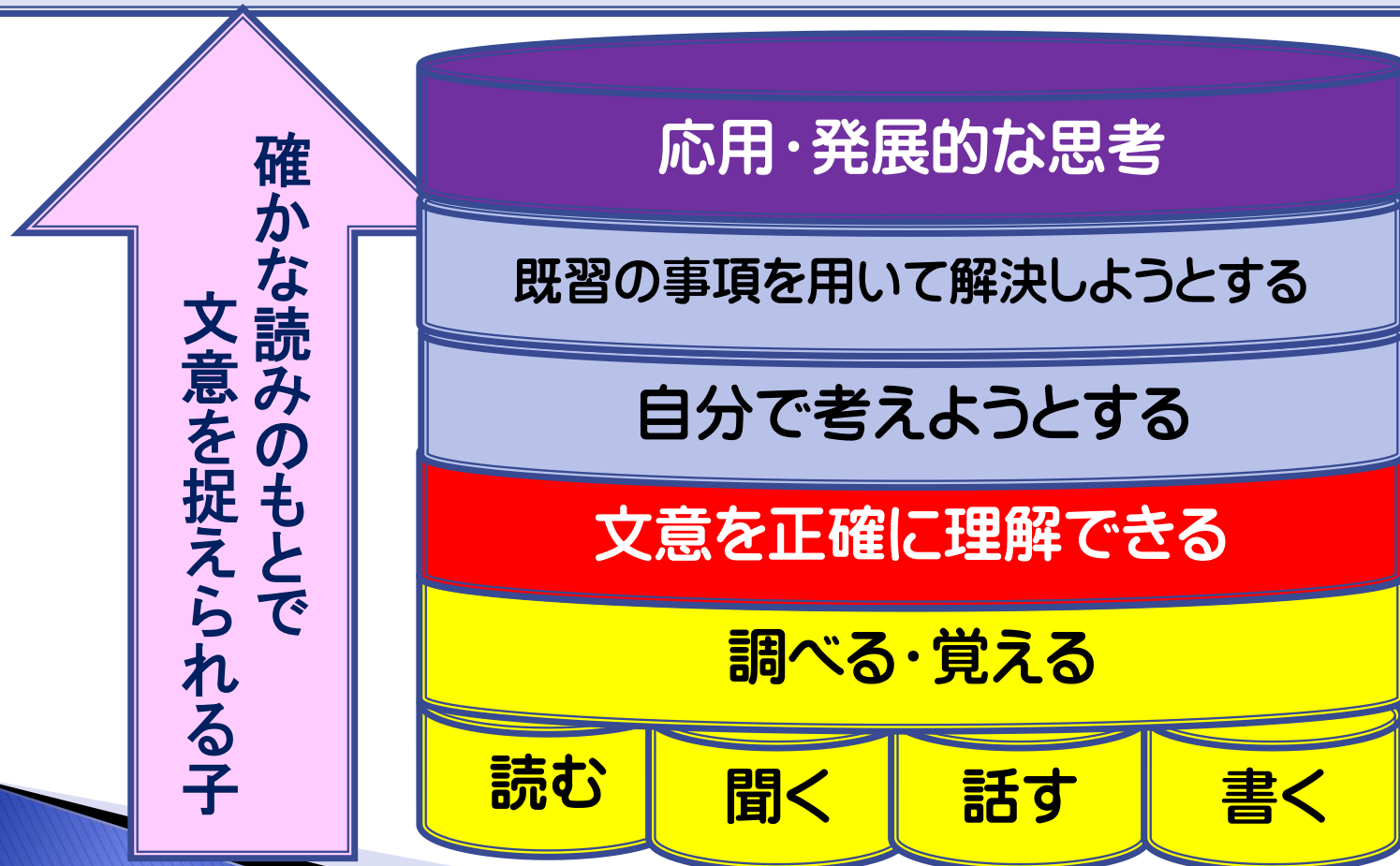
研究の内容

「学習内容への意欲を高める導入の工夫」

- ▶ 学ぶ必要感を高める問題や課題設定の工夫。
- ▶ 学ぶ意欲を高める教材の工夫。
- ▶ 解決の見通しをもてる指示の工夫

研究の仮説2

言語活動を充実し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習指導を展開することにより、文意を正確に理解することができるであろう。



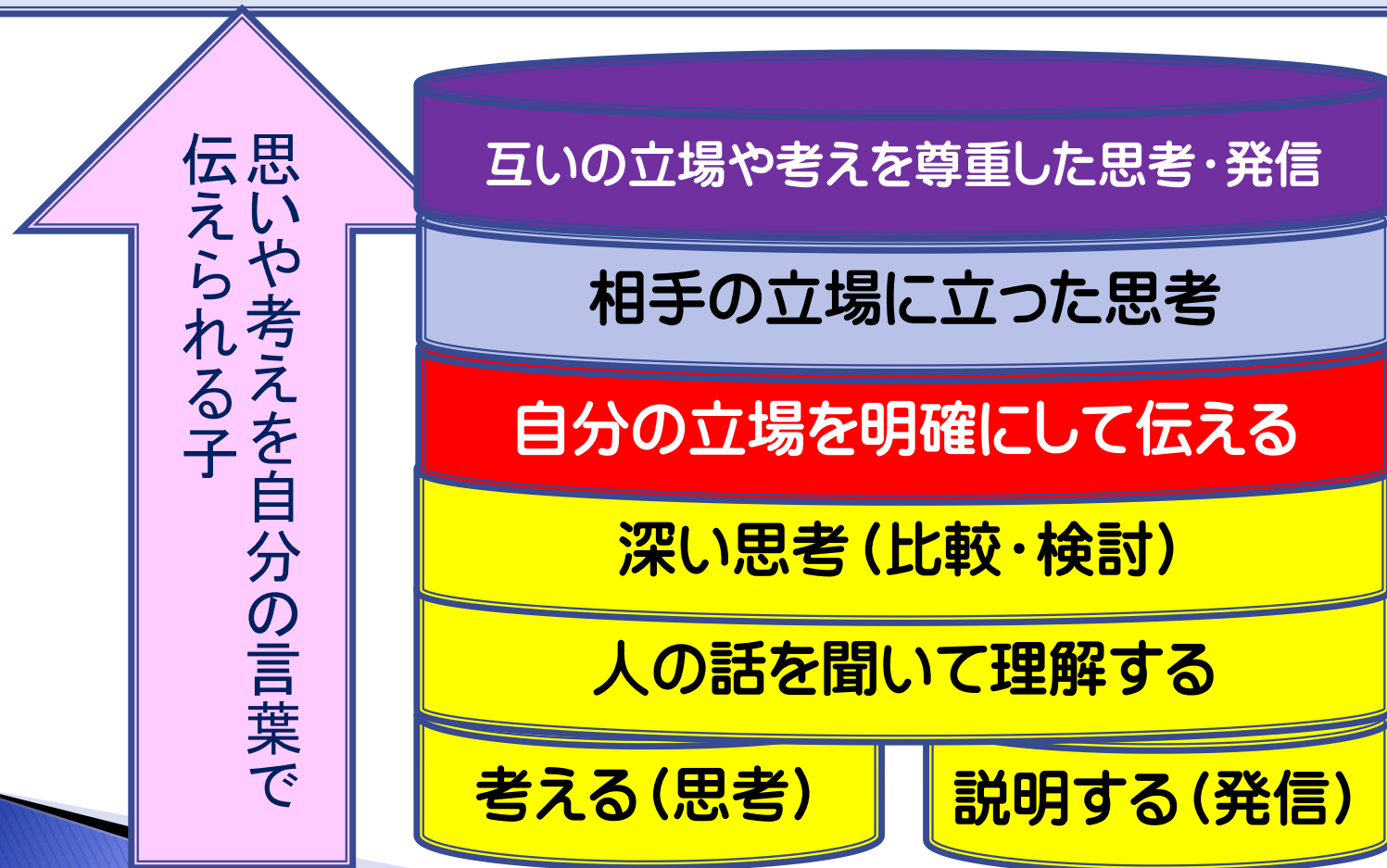
研究の内容

「言語活動の充実による読解力向上の工夫」

- ▶ 音読方法の工夫
- ▶ 国語辞典の活用
- ▶ 語彙を豊かにする活動の工夫

研究の仮説3

学習過程において、自分の考えを言葉で説明したり、他者の説明を聞いたりする場面を設定することにより、思いや考えを自分の言葉で伝えることができるだろう。



研究の内容

「話したい聞きたい気持ちを育てる，学習過程の工夫」

- ▶ 発表評価シートの工夫。
（声の大きさ・速さ など 他者が評価する。）
- ▶ 全校の場での発表活動の充実

実践例「仮説1」

「学ぶ意欲を高める教材の工夫」

- ①学習の最後に他校と交流することを伝える。
- ②家族、他学年からのメッセージを活用する。
- ③児童が本時の活動の見通しをもち、いつでも確認できるように板書・掲示する。

成果

- 「単元の導入における期待感」と「1時間の授業の期待感」がもて、意欲をもって学習できた。
- 見通しをもつことで、時間内にやりとげようとする気持ちが高まった。

実践例「仮説2」

「基礎的・基本的な技能の習得」のために

- ① 掲示物を活用し、学習内容を確認しやすくする。
- ② 既習内容のふり返りを毎時間の始めに行う。
- ③ 国語辞典を日常的に活用する。

成果

○教師が他学年へ行っているときも、児童は安心して学習することができた。

○本時の課題を考えるときに、既習事項を使って考えることができた。

実践例「仮説3」

「話したい・聞きたい気持ちを育てる」ために

- ①正誤にかかわらず，自分なりの根拠のある発表を認めていく。
- ②他学年の友だちが書いた文章を用意する。

成果

○間違ってもいいという安心感から，たくさん発表するようになった。

○児童の発想が拡がり，自分が書いた作品を読んでもらいたいという意欲につながった。

家庭・地域社会と連携して育てる豊かな心



- へき地だからできる教育
- 小規模性を生かして
- 複式形態を生かして

へき地だからできる教育

▶ 地域とつながりあって学ぶ

◎地域を学校の応援団に。

（お便り配付・行事参加の呼びかけ）

◎地域の方や保護者に学ぶ。

（漁業体験・郷土料理体験・他校との交流）

◎島の学校全体で取り組む「礼文学」

昆布干し体験



保育所での読み聞かせ



小規模性を生かして

▶ 行き届いた指導で一人一人を主役に

◎児童のよさや持ち味に注目し、引き出せる。
～活躍の場を設定し、全員が主役に～

◎学級生活上の躓きを捉え、個に応じた指導ができる。

◎表現する力が育つ。

◎異年齢集団の中で「役割」への自覚と意欲が育つ。

異年齢集団の中で育ち合う



複式形態を生かして

▶ ふれあい・学び合いで共に育つ

◎ 自学自習の力がつく。

（教材の工夫・教育機器の活用）

◎ 異学年との活動から、思いやりの心が
育まれ、自分の成長に気づくことができる。

体育の授業と縦割り班活動



終わり